

CURRICULUM

①:「私を変えた科目」(P.082) ●:必修科目 ○:全員必修科目

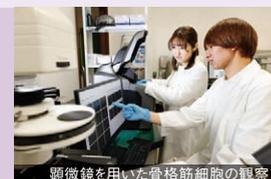
	1年次	2年次	3年次	4年次
総合基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎演習I・II ○国際コミュニケーションI・II 心理学 社会学 経済学 憲法 倫理学 ○健康科学概論 自然科学概論 	<ul style="list-style-type: none"> ○統計学演習 ○情報処理演習 スポーツと健康I・II こころとからだ 福祉社会入門 ヒューマンケアのための多職種連携 ●人間関係とコミュニケーション 		
専門基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアシステム論 ●人間発達学 ●リハビリテーション概論 ●生理学I・II ●解剖学I・II ●医学概論 生化学 ●解剖学実習① ●生理学実習 	<ul style="list-style-type: none"> ●臨床心理学 ●小児科学 ●老年学 ●病理学 ●整形外科学 ●内科学 ●臨床神経科学 ●精神科学 ●栄養学 ●医学英語I・II ●疼痛医学 	<ul style="list-style-type: none"> ●救急医学 ●薬理学 ●公衆衛生学 	
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ●理学療法学概論 ●基礎運動学 ●運動療法学I ●運動療法学I実習 ●応用運動学 ●理学療法評価学I① ●理学療法評価学I実習 ●見学実習前指導 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者福祉論 ●運動療法学II ●物理療法学 ●物理療法学実習 ●日常生活活動学 ●日常生活活動学実習 ●理学療法評価学II ●理学療法評価学II実習 ●運動学実習 ●運動器理学療法学 ●運動器理学療法学実習 ●義肢装具学 ●義肢装具学実習 ●機能障害科学 ●評価実習前指導 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者理学療法学 ●小児理学療法学 ●内部障害理学療法学 ●内部障害理学療法学実習 ●神経系理学療法学 ●神経系理学療法学実習 ●地域理学療法学 ●総合実習前指導① ●理学療法管理学 <p>●理学療法学研究I</p> <p>★最新トピックス科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●前庭リハビリテーション ●スポーツ理学療法学 	<ul style="list-style-type: none"> ターミナルケア 福祉住環境計画 リハビリテーション工学 ●統合理学療法学 ●総合実習後指導 医療統計学 <p>●理学療法学研究II・III</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理学療法学特論 がん理学療法学 ヘルスプロモーション
臨床実習	<ul style="list-style-type: none"> ●見学実習 <p>最先端の医療現場で実践的に学ぶ</p> <p>主な実習先</p> <p>名古屋大学医学部附属病院／名古屋市立大学病院／愛知医科大学病院／浜松医科大学医学部附属病院／半田市立半田病院／知多厚生病院／名古屋第二赤十字病院／常滑市民病院／刈谷豊田総合病院／一宮市立市民病院／蒲郡市民病院／小牧市民病院／掛川市・袋井市病院企業団立 中東総合医療センター／公立丹南病院／高岡市民病院／あいち小児保健医療総合センター／市立伊勢総合病院／主体会病院／名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院／四日市羽津医療センター／静岡県立こども病院 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●評価実習① 	<ul style="list-style-type: none"> ●総合実習 ●地域理学療法学実習 	

質の高い研究に集中できるカリキュラムを導入

進歩する医療現場で長く活躍するには、常に最新の知識や技術を探求する姿勢が欠かせません。本専攻では3年次に研究室に所属して研究活動を開始。講義科目の大半と臨床実習を3年次に終え、4年次からは研究活動に集中することにより、高度な研究能力と実践力を身につけます。

学生の卒業研究テーマ

- ・温熱刺激はステロイド受容体の核移行を阻害することでステロイド誘発性の骨格筋萎縮を抑制する
- ・経皮的末梢神経電気刺激療法の鎮痛効果と作用機序についての検討
- ・パーカッション・マッサージにおける実施時間の違いが柔軟性および筋力に及ぼす影響
- ・足底部チップが下肢機能および姿勢制御に与える影響について
- ・福山型先天性筋ジストロフィーをもつ児に対する電動移動機器の使用が発達に及ぼす影響
- ・膝関節屈曲角度の変化がDynamic Valgus Angleに及ぼす影響—ジャンプ着地動作に着目して—



顕微鏡を用いた骨格筋細胞の観察